

PowerChute Business Edition v10.0 アップデートプログラムのお知らせ

平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

UPS 管理ソフト PowerChute Business Edition v10.0 において、ソフトウェアで使用しているライブラリを起因とする複数の不具合があることが判明しており、従来はソフトウェアのインストール後、個別に対処していただいております。

この度、不具合を一括して対処可能な PowerChute v10.0.5 へのアップデートプログラムの公開を致しますので、ご利用いただきたく宜しくお願ひ申し上げます。

1. 重要度

注意。

2. 対象装置

対象製品の装置は下表の UPS 管理ソフトです。

項	対象製品	対象形式	ソフトウェアバージョン
1	PowerChute Business Edition v10.0	GQS-VSU7BS100N	v10.0

3. 現象

PCBE v10.0 の初期インストール状態では以下の不具合がございます。

- (1) PCBE の管理画面が Web ブラウザから開けない。
- (2) log4j ライブラリ脆弱性 (CVE-2021-44228, CVE-2021-45046) の存在。

3. 発生条件

以下の条件を満たすときに発生します。

- (1) PCBE の Java をアップデートせず、TLS1.3 プロトコルが有効な Web ブラウザを使用した場合。
- (2) 脆弱性緩和策 (log4j ライブラリから対象モジュールの削除) を実施していない場合。

4. 対策

PCBE v10.0 に組み込まれている Java および log4j ライブラリを更新して不具合を解消した PCBE v10.0.5 アップデートツールを用意いたしましたので、アップデートツールのダウンロードおよびアップデートを実施してください。

アップデートツールのダウンロードおよびアップデート方法については、下記メーカー外部リンク (シュナイダーエレクトリック社 FAQ ページ) にて案内しております。

<https://www.apc.com/jp/ja/faqs/FAQ000245082>

なお PCBE v10.0 で設定した情報はアップデート実行後も保存されます。

また PCBE v10.0.5 へアップデート後、PCBE の管理画面を最初に開いた際、メーカー側環境 (外部ネットワークへ接続要) を使用した CEIP (PowerChute カスタマーエクスペリエンス向上プログラム) への参加可否について尋ねられますので、参加可否の設定 (後からでも変更可) をお願ひします。

以上